

【 無料ダウンロード資料 】

社労士試験の得点アップ法

【社労士択一对策】新しい教材は捨てる！30点台から合格ラインへ乗せる過去問活用法

※約5分で読めます

模試や過去問を解いているけど、択一式の点数が30点台で停滞していませんか？

こんなに勉強しているのに、このままでは合格できないかもと焦る気持ちわかります。

でも、択一式30点台なら、もうひと踏ん張りで40点台も見えてきています。

本レポートでは、30点台の壁を突破し、合格ライン（45点以上）に乗せるための具体的な勉強法をお伝えします。

【結論】択一式30点台で停滞する原因

まず、大前提をお伝えします。

択一式30点台から抜け出せない最大の理由は「**知識の曖昧さ**」です。

私自身の経験から、曖昧な知識では「**本試験問題**」は解けません。

理由は、曖昧な知識では「何かこの問題見たことがあるな」で終わり、結局は正解を絞り切れなくて不正解という流れになります。

広く浅くではなく、**狭くても深い知識こそ**、本試験で得点できる実力となります。

新しい教材には絶対に手を出さず、**今あるテキストと過去問を「徹底的」に学習**することが一番の近道です。

▼ 択一30点台と合格者の「知識の差」

択一式	停滞する人 (30点台)	突破する人 (45点以上)
知識の精度	なんとなく見たことがある	確実にわかる・説明できる
問題の解き方	正解の選択肢をなんとなく選ぶ	誤り(×)の理由を瞬時に指摘できる
使用する教材	点数が伸びず、新しい教材を買う	今あるテキストと過去問に絞り込む

点数を上げるには「弱点をつぶす」こと

真面目な人ほど、点数が伸び悩むとテキスト1ページ目から読み直そうとします。

合格ライン到達には、「頻出事項」を間違えないことが最優先です。

過去問の「×」の理由を言えるか？

正解できたかよりも、選択肢の「どこが間違っているか」を説明できるまで、過去問の精度を高めるべきです。

「横断学習」で知識を整理する

労働基準法と労災保険法など、科目間の似たような規定で混乱していませんか？

似ている「数字や要件」を横断的に比較して整理することが、曖昧な知識を「正確な知識」へと変えるポイントです。

▼ 横断学習で整理すべき「混乱しやすいポイント」例

比較する科目	整理すべきポイント
労基法 ⇔ 労災法	休業補償の要件、平均賃金と給付基礎日額の違い
健保法 ⇔ 厚年法	標準報酬月額等級、被扶養者（配偶者）の要件

【科目別】得点アップのための強化ポイント

択一式で点数を稼ぐためには、科目ごとの特性に合わせた対策が必要です。

得点アップのコツを以下の表にしました。

私が実践していた割合ですが、ご自分の進捗状況に合わせて参考としてください。

▼ 科目別の「インプット・アウトプット」最適比率

科目グループ	対象科目	対策の鉄則	勉強の比重
労働系科目	労基・労災・雇用	徹底的な過去問の回転で満点を狙う！	【アウトプット重視】 ・テキスト：3 ・過去問：7
社会保険系科目	健保・国年・厚年	テキストで「制度の全体像」を理解する！	【バランス重視】 ・テキスト：5 ・過去問：5

まとめ

択一式30点台は、40点台に到達するまであと少しです。

正しい方向で「**知識の精度**」を高めれば、一気に合格ラインまで突き抜けます。

新しいことには手を出さず、今ある教材を信じて繰り返すこと。

これが社労士試験を突破する秘訣です。

下記の記事で、過去問の勉強法や高速回転のメリットなどを書いています。

必ず、参考になる内容ですので、ぜひご覧ください。



参考記事はこちら

クリック→[【初学者は質より量！】社労士試験では高速回転勉強法がおすすめ](#)

しゃろうむ